※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０９

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	精選「言語文化」（東京書籍）						
副教材等	「シンプルスタイルシリーズ　古文単語 301」（尚文出版） 「書いて覚える古典文法・用言確認シート」（京都書房） 「書いて覚える古典文法・助動詞確認シート」（京都書房） 「イラスト資料でつかむ　古文の基礎」（中部日本教育文化会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では、社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけることを心掛けましょう。
・「言語文化」には現代文の分野と古典の分野があります。現代文では、近現代の小説や、随筆、詩歌などを、古典では古文と漢文を取り扱います。現代文の分野で扱う小説、随筆、詩歌などは、古典の世界観で描かれているものもあり、またそうでなくても人々が長い歴史の中で培ってきた考え方などに基づいた表現がなされている作品もあります。それらを読み味わうために、この授業では古典の基礎学習と古典世界に親しむことを目的とします。
・予習の仕方やノートの取り方などは、担当者の指示に従ってください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、古典作品や文学作品をとおしてその特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、古典作品や文学作品を通して言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古典世界を知り、親しむ ［教材］ 「児のそら寝」 『宇治拾遺物語』	a：話の筋道を理解する。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえるとともに、他の作品などとの関係を踏まえ、解釈を深める。 c：進んで文章全体をとらえ、これからの学習に活かせるように、関心を持つ。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	古文を現代語に置き換える ［教材］ 「大江山の歌」 『十訓抄』	a：古典の世界により親しむために、必要な文語のきまりや法則、特有な表現などについて理解する。 b[書]：古文を口語訳するにあたり、正確な逐語訳とともに、より自然な日本語への変換も試み、物語世界をより深く理解する。 c：積極的に古典の理解を深めようとし、工夫をすることでより自分のものにしようとする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	古典と近代文学の接点を知る ［教材］ 『羅生門』 芥川龍之介	a：古典を素材にした近代文学を読むことにより、より古典世界に親しみ、近代の小説とのつながりを知る。 b[読]：登場人物の心理の動きを読み取り、時代背景を踏まえて物語世界の雰囲気や世相を理解する。 c：物語の展開や背景、登場人物の心の動きを積極的にとらえようとし、思うところを発表する。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
二学期	登場人物の心理を読む ［教材］ 「芥川」 『伊勢物語』	a：平安貴族の生活様式や男女間に存在する習慣を理解する。また、文語の表現方法により習熟し、古文をより自然に読めるようになる。 b[読]：登場人物の男が、女に対してどのような思いを抱き、どのようにして女を手に入れ、なぜ女を失ったのかを理解する。 c：古文の舞台である平安時代に対する知識を積極的に取り入れ、古文を読む際の基礎とする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	歴史と文学の接点を知る ［教材］ 「木曽の最期」 『平家物語』	a：歴史上の出来事が文学となり、作品が歴史的資料でありまた同時に文学であることを知る。 b[書]：古文に慣れてきたところで、自ら古文を現代語に置き換える。その際、表現上の工夫や正確な場面描写を試みる。 c：自ら積極的に場面描写の工夫をし、自分の力で物語世界を構築する。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	様々な表現に触れる ［教材］ 『鏡』 村上春樹	a：口語体での文章に触れ、表現がもたらす効果について知る。 b[読] 登場人物の心理状態を読み取り、作品の主題について考える。 c：主題について、自分の意見を発表し、他社の意見も取り入れながらより深い理解へとつなげる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	漢文の基礎を学ぶ ［教材］ 漢文入門 「矛盾」『韓非子』	a：漢文の世界を知り親しむとともに、漢文訓読の基礎を理解する。 b[書]：訓点の法則を理解し、基礎的な漢文の書き下し文を書き、またそれを現代日本語に置き換える。 c：積極的に漢文世界への理解を深めようとするとともに、自ら訓読を試みる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　９０　）時間